

評価機構が定める基準に基づく自己評価

基準1 使命・目的等	適	不適	備考
1-1-①	○		
1-1-②	○		
1-2-①	○		
1-2-②	○		
1-2-③	○		
1-3-①	○		
1-3-②	○		
1-3-③	○		中長期計画の作成を実施した。
1-3-④	○		
基準2 学修と教授	適	不適	備考
2-1-①	○		
2-1-②	○		
2-1-③	○		
2-2-①	○		
2-2-②	○		教育課程を図式化したものをコースで作成した。
2-3-①	○		
2-4-①	○		
2-5-①	○		
2-6-①	○		
2-6-②	○		
2-7-①	○		
2-7-②	○		卒業時アンケートを実施
2-8-①	○		
2-8-②	○		
2-8-③		○	教養科目と専門教育のカリキュラムツリーは平成26年度作成予定
2-9-①	○		
2-9-②	○		
基準4 自己点検・評価	適	不適	備考
4-1-①	○		
4-1-②	○		
4-1-③	○		
4-2-①	○		
4-2-②	○		定期的な自己点検報告書の作成を実施した。
4-2-③		○	自己点検結果の公表は平成26年度実施予定
4-3-①	○		継続的な自己点検委員会の活動を実施した。
基準A 地域貢献	適	不適	備考
A-1-①	○		
A-2-①	○		
A-3-①	○		
A-4-①	○		

評価機構が定める基準に基づく自己評価

基準1. 使命・目的等

1-1 使命・目的及び教育目的の明確性	自己評価
《1-1の視点》	
1-1-① 意味・内容の具体性と明確性	適
1-1-② 簡潔な文章化	適
【改善・向上方策】 平成25年度の「ハンドブック」では、「教育目標の文章化」(目標に目的が書かれているため)の修正を実施し使命・目的及び教育目的の明確化を行う。	
エビデンス資料 1-1-①、②ハンドブック、ホームページ、シラバス	

1-2 使命・目的及び教育目的の適切性	自己評価
《1-2の視点》	
1-2-① 個性・特色の明示	適
1-2-② 法令への適合	適
1-2-③ 変化への対応	適
【改善・向上方策】 ①②③短大設置基準を遵守している。上記「1-1」のとおり、平成25年度自己点検委員会において、教育目標・目的を見直し、使命・目的及び教育目的の適切性を保持している。	
エビデンス資料 1-2-①②③ハンドブック、ホームページ、シラバス	

1-3 使命・目的及び教育目的の有効性	自己評価
《1-3の視点》	
1-3-① 役員、教職員の理解と支持	適
1-3-② 学内外への周知	適
1-3-③ 中長期的な計画及び3つの方針等への使命・目的及び教育目的の反映	適
1-3-④ 使命・目的及び教育目的と教育研究組織の構成との整合性	適
【改善・向上方策】 ①②、ハンドブック・シラバス・HP・パンフレットなど周知している。③新コース設立などカリキュラム変更は教育計画の範囲内である。「中長期の計画」を作成した。④、適切な人員配置を実施している。	
エビデンス資料 1-3-① ハンドブック、シラバス 1-3-② ハンドブック、シラバス、学校案内(パンフレット)、学内モニター 1-3-③ シラバス、ハンドブック、募集要項、中長期計画書 1-3-④ ハンドブック、教員業績と履歴書	

評価機構が定める基準に基づく自己評価

基準2. 学修と教授

2-1 学生の受入れ	自己評価
《2-1の視点》	
2-1-① 入学者受入れの方針の明確化と周知	適
2-1-② 入学者受入れの方針に沿った学生受入れ方法の工夫	適
2-1-③ 入学定員に沿った適切な学生受入れ数の維持	適
【改善・向上方策】 ①②③受入れ方針は募集要項・アドミッションポリシーにより明確化している。受入れ方法の工夫は多様な入試制度とカリキュラム変更も実施している。学校の方針や教育目標に沿った高校生への啓発・教育活動の実施、また、コースごとの受入方針に従った個別の選抜方法の実施。、アドミッションポリシーと入試制度の整合性についてはAO入試の内容を変更するなど募集要項を変更した	
エビデンス資料	
2-1-①	アドミッションポリシーを設け、募集要項とHPで明確化と周知をしている。
2-1-②	入試委員会、教授会議事録、入試まとめ表
2-1-③	入試委員会、教授会議事録、入試まとめ表
2-2 教育課程及び教授方法	自己評価
《2-2の視点》	
2-2-① 教育目的を踏まえた教育課程編成方針の明確化	適
2-2-② 教育課程編成方針に沿った教育課程の体系的編成及び教授方法の工夫・開発	適
【改善・向上方策】 ①②、教職員が教育目標を共通認識するためにコースごとの教育課程を図示したものを作成した。	
エビデンス資料	
2-2-①	ハンドブック、シラバス、HP、大学案内(パンフレット)
2-2-②	ハンドブック、シラバス、HP、大学案内(パンフレット)、FD委員会、教育課程図
2-3 学修及び授業の支援	自己評価
《2-3の視点》	
2-3-① 教員と職員の協働並びにTA(Teaching Assistant)等の活用による学修支援及び授業支援の充実	適
【改善・向上方策】 平成25年度は卒業生をアシスタントとして講義に活用している。(生活支援技術)、ポータルサイトなどIT設備の活用を実施。	
エビデンス資料	
2-3-①	検定試験の実施(ハンドブック) *ポータルサイト等IT設備の活用を検討した。

2-4 単位認定、卒業・修了認定等	自己評価
《2-4の視点》	
2-4-① 単位認定、進級及び卒業・修了認定等の基準の明確化とその厳正な適用	適
【改善・向上方策】 シラバス、ハンドブックで基準の明確化をしており、教授会などにおいて実施。	
エビデンス資料 2-4-① シラバス、ハンドブック、教授会議事録	

2-5 キャリアガイダンス	自己評価
《2-5の視点》	
2-5-① 教育課程内外を通じての社会的・職業的自立に関する指導のための体制の整備	適
【改善・向上方策】 満たしている。総合教育支援センター、学生支援課の体制を整備し、社会的・職業的自立を支援している。ただし、就職率86.8%である。	
エビデンス資料 2-5-① 事業報告書(総合教育支援センター及び学生支援課)	

2-6 教育目的の達成状況の評価とフィードバック	自己評価
《2-6の視点》	
2-6-① 教育目的の達成状況の点検・評価方法の工夫・開発	適
2-6-② 教育内容・方法及び学修指導等の改善へ向けての評価結果のフィードバック	適
【改善・向上方策】 ①② H24年度にカリキュラム変更を企画し実施。達成状況の点検・評価の指標として資格取得一覧表を作成し、その結果をもとにコース会議でフィードバックするなどの対応。(専門職就職率の向上を図る)	
エビデンス資料 2-6-① 資格取得率一覧表、FD委員会 2-6-② 資格取得率一覧表、FD委員会、シラバス、成績報告書、コース会議など議事録	

2-7 学生サービス	自己評価
《2-7の視点》	
2-7-① 学生生活安定のための支援	適
2-7-② 学生生活全般に関する学生の意見・要望の把握と分析・検討結果の活用	適
【改善・向上方策】 「安定のための支援」については、学生支援課・ハンドブック・スクールカウンセラーなど支援体制を整備している。学生支援課でサークル活動の支援を実施、留学生については、生活用品などの寄付や募集及び中国からの教員を派遣要請のほか、下宿生との交流会の実施、布引体育館(外部)の利用や、スクールバス、駐車場の整備も実施。②については、卒業時アンケートをとり活用している。	
エビデンス資	
2-7-① 学内業務内容及び組織図、学校案内(パンフレット)、ハンドブック、学生委員会議事録	
2-7-② 学生委員会議事録	

2-8 教員の配置・職能開発等	自己評価
《2-8の視点》	
2-8-① 教育目的及び教育課程に即した教員の確保と配置	適
2-8-② 教員の採用・昇任等、教員評価、研修、FDをはじめとする教員の資質・能力向上への取組み	適
2-8-③ 教養教育実施のための体制の整備	不適
【改善・向上方策】 ①、②は、カリキュラムポリシー、ハンドブック、シラバス(担当者一覧)、FD委員会による研修会、授業評価の実施などにより基準を満たしている。③は、介護以外のコースで教養科目と専門科目のつながりがわかるような専門科目への関連付けが必要。体制の整備としてH26年度に向けたカリキュラムの変更をH24年度から計画している。	
エビデンス資	
2-8-① カリキュラムポリシー、シラバス(担当者一覧)、ハンドブック、FD委員会、	
2-8-② カリキュラムポリシー、シラバス(担当者一覧)、ハンドブック、FD委員会、	
2-8-③ カリキュラムポリシー、シラバス(担当者一覧)、ハンドブック、FD委員会、中長期計画	

2-9 教育環境の整備	自己評価
《2-9の視点》	
2-9-① 校地、校舎、設備、実習施設、図書館等の教育環境の整備と適切な運営・管理	適
2-9-② 授業を行なう学生数の適切な管理	適
【改善・向上方策】 ①は、校地、校舎等の面積、教員研究室の概要、教室(実習室・コンピューター室含)の概要、図書館・閲覧室の概要資料等より適切に運営管理。②は、年次入学者数、時間割より管理。	
エビデンス資	
2-9-①ハンドブック	
2-9-②年次入学者数、時間	

評価機構が定める基準に基づく自己評価

基準4. 自己点検・評価

4-1 自己点検・評価の適切性	自己評価
《4-1の視点》	
4-1-① 短期大学の使命・目的に即した自主的・自律的な自己点検・評価	適
4-1-② 自己点検・評価体制の適切性	適
4-1-③ 自己点検・評価の周期等適切性	適
【改善・向上方策】 ①②③、委員会規定の検討は平成26年度に実施予定。年1回の実施評価報告書の作成を実施。	
エビデンス資料	
4-1-① 自己点検委員会	
4-1-② 自己点検委員会報告書・議事録	
4-1-③ 認証評価及び自己点検委員会	

4-2 自己点検・評価の誠実性	自己評価
《4-2の視点》	
4-2-① エビデンスに基づいた透明性の高い自己点検・評価	適
4-2-② 現状把握のための十分な調査・データの収集と分析	適
4-2-③ 自己点検・評価の結果の学内共有と社会への公表	不適
【改善・向上方策】 ①② 自己点検委員会において、課題について挙げ自己点検委員会報告書として作成。③については、年度ごとの自己点検評価報告をどのような方法で学内共有し社会へ公表するか検討が必要である。	
エビデンス資料	
4-2-① 認証評価及び自己点検委員会	
4-2-② 自己点検評価報告書	
4-2-③ 認証評価については公表している(HP・パンフレット等)	

4-3 自己点検・評価の有効性	自己評価
《4-3の視点》	
4-3-① 自己点検・評価の結果の活用のためのPDCAサイクルの仕組みの確立と機能性	適
【改善・向上方策】 ①について継続的に自己点検委員会活動の実施をすることで自己点検・評価の有効性を保っている。	
エビデンス資料	
4-3-① 継続的な自己点検評価報告書	

短期大学が使命・目的に基づいて独自に設定した基準による自己評価

基準A. 地域貢献

A-1 短期大学が主体的に実施している地域貢献	自己評価
《A-1の視点》	
A-1 短期大学が主体的に実施している地域貢献	適
【自己判定結果】 公開講座、滋賀県立高等学校連続講座、出前講座(リストの作成等広報)、介護技術講習会、CAD検定の実施、	
エビデンス資料 各講座の担当部署の資料	

A-2 地域連携	自己評価
《A-2の視点》	
A-2 短期大学が実施している地域連携	適
【自己判定結果】 三方よし(医療、福祉、行政関係者による勉強会)、行政等各種委員(名簿もしくはリスト)の受託、初任者研修会、販売士試験、職業訓練(離職者支援事業)、「東近江の地域学」の開講	
エビデンス資料 各担当部署の資料	

A-3 ボランティア活動	自己評価
《A-3の視点》	
A-3 短期大学が実施しているボランティア活動	適
【自己判定結果】 ボランティア活動の募集及び学生への斡旋・周知活動、「総合演習」(介護コース1回生)で、夏休みの課題にボランティア活動実施、「ボランティア実践」の開講。	
エビデンス資料 各担当部署の資料	

A-4 施設の開放	自己評価
《A-4の視点》	
A-4 短期大学の施設の開放	適
【自己判定結果】 図書館の一般開放、駐車場の用地提供、東近江市職員採用試験、商工会議所主催の検定試験の実施(会場提供)	
エビデンス資料 各担当部署の資料	